

福知山公立大学 2024 年度卒業式・学位授与式
式辞

地域経営学部地域経営学科 7 4 名、医療福祉経営学科 2 5 名、情報学部情報学科 8 5 名、合計 1 8 4 名の卒業生のみなさん、本日晴れてご卒業を迎えられましたこと、まことにおめでとうございます。福知山市長大橋一夫様のご臨席を得て、このように卒業式・学位授与式を挙行できますことを喜びつつ、教職員を代表してお祝い申し上げます。また、卒業生の保護者のみなさまも深い感慨を覚えておられることでしょうか。卒業生のみなさんの門出をともに祝いたいと思います。

本日、学位を授与されたみなさんお一人お一人は、さまざまな試練を乗り越え、学問を修め、自己を鍛え、人間としてのちからを高めてこられました。その努力と精進に対し、心より敬意を表します。また、みなさんを支え続けてこられたご家族や友人、そして本学の教職員にも、深い敬意と感謝を捧げたいと思います。

みなさんの多くは 2021 年 4 月に本学に入学されました。そこから本日までの在学期間は、世界と日本は多くの変化と課題とに翻弄された時期でした。1 回生のときには新型コロナウイルスへの対応がまだ求められていましたし、2022 年 2 月にはロシアのウクライナ侵攻が始まり、現在も痛ましい状況は続いています。3 回生の秋にはイスラエルのガザ地区攻撃が始まり、これもまだ完全に終わってはいません。そして、昨年 2024 年元日には能登半島地震が発生し夏には同じ地で水害も重なり、被災者の厳しい状況は今も変わりません。みなさんが本学に在学した 4 年間で、後世の歴史家は「世界に大きな転換が起こった時期」、あるいは「起こり始めた時期」と呼ぶことになるかもしれません。

卒業されるみなさんの多くは、これからそのような激しい変化の時代に生きて、社会のために貢献する仕事をするようになります。お一人お一人が生きる場所は様々でしょう。そして、その場所でみなさんが直面する課題はやはり多様でさまざまに異なったものでしょう。

しかし、私は先ほど述べたような紛争や自然災害といった大きな社会的課題と、ご自身が直面するいわば「小さな」課題とを結びつけて理解し、広い視野で自らの課題を設定してほしいと願っています。本学が掲げてきた「地域協働型教育」は、地域の「小さな」課題を地域の課題として考えることとともに、より広い世界的視野との連関で地域の課題を考えることでもあるのです。本学での学びによって身につけた課題解決のためのちからが、これからのみなさんの人生の基礎になると信じています。

ただ、「人生の基礎になる」と今申し上げましたのは、学びは本学を卒業して終わりではないからです。本学は 2 学部の小さな大学であり、みなさんが在学中に学び得たことは限

定的です。だから、これから社会で仕事をして社会に貢献するためには、本学で学んだ知識やスキルだけでは不十分になることは明らかでしょう。現代社会は知識が社会のあらゆる領域で重要な価値を占める知識基盤社会であらざるを得ない以上、卒業後にもみなさんには学び続けることが求められることになるのです。今後の学びの人生のために、本学での学びが確固たる基礎となることを願ってやみません。

さて、先ほどみなさんが在学された4年間は「世界に大きな転換が起こった時期」となるかもしれないと申し上げました。しかし、後世の歴史家たちは、最も大きな転換・変化はみなさんが2回生の秋から普及したChatGPTをはじめとする生成AIが、広く利用される時代となったことだと言うかもしれません。今卒業されるみなさんは、生成AIを活用しながら高等教育を受けて卒業した第一世代と言ってよいと思います。

生成AIの登場によって、知識の獲得、情報の整理、文章の生成といったまさに知識基盤に必須の領域において、人間の役割は変化を余儀なくされています。このような時代において、私たちは「知」とは何か、「学ぶ」とはどのようなことなのか、という根源的な問いに立ち返る必要があります。

古代ギリシア哲学の伝統において「プラトンは慕わしい友、されど真理はより慕わしい」という格言がありました。この格言の直接の典拠はプラトンの弟子であったアリストテレスですが、この「プラトン」は「ソクラテス」となっているヴァージョンもありました。いずれにしても、ソクラテスやプラトンといった卓越した教師であっても、自分が弟子として親しんだ彼らが言ったことを「そう言ったのが彼らだからだ」という理由で受け入れるのではなく、「言われた事柄そのものが真理であるのかどうか」という理由によって判断すべきだという考えです。

このいにしへの考えは生成AIを利用できるようになった現代においても、なお深い示唆を与えていると思います。今や、AIは驚くべき精度で文章を生み出し、人間がかつて担っていた知的作業の一部を代替しつつあります。しかし、AIが生成した情報が常に正しいとは限らず、また、その言葉に本質的には倫理性や価値観が伴っているわけでもありません。情報の送り手が誰であるかに依存せず、内容の妥当性や論理の正当性を吟味し、自らの知的判断によって真理を追求する姿勢が、今後ますます重要になるのです。

また、生成AIは一人の人間が持ち得ない膨大なデータに基づいてみなさんの立てた問いに何らかの解答を与え、学びを手助けしてくれます。今後これを利用しない選択肢はありえません。しかし、生成AIが自らの関心と意志によって問いを立てることはないのです。「問いを立てる意志とちから」を持っているのはあくまで人間です。生成AIがいかに発達しようとも、「何を問うべきか」を決めるのは、最終的には人間です。知識や情報が容易に手に入る時代だからこそ、与えられた答えを受動的に、また無批判に受け入れるのではなく、自ら問いを立て、思索を深める姿勢がより一層求められることになるのです。

このことを踏まえた上で、みなさんには、生成 AI を含めて誰か他者が示す知を受動的に享受するのではなく、みずから能動的に追求する知的探究者であり続けてほしいと願いますし、福知山公立大学がそのために必要な知性と精神のちからを培う場となっていたと信じています。そのちからを携えながら、卒業生のみなさんお一人お一人が豊かで充実した人生を歩まれることを願って饞の言葉といたします。

本日のご卒業、本当におめでとうございます。

2025 年 3 月 23 日

福知山公立大学学長 川添 信介